

## 和泉府中(大阪府和泉市)

「更級日記」と「和泉府中」とは、なんてマイナーな組合せ！

少し前に前職の先輩と飲みに行った際に、「更級日記」の話題が出ました。居酒屋で飲みながら更級日記について話すなんて不思議というか、珍しいというか、当然盛り上がりませんでした。

更級日記の作者の菅原孝標女は、少女時代は源氏物語光源氏に憧れて日々無為に過ごし、中年になってから物語ばかりに夢中になっていた若い頃を後悔して、寺社詣でを繰り返した。結婚もあまり幸福ではなかったが、夫に先立たれ、さびしく晩年を過ごした。

その、菅原孝標女が和泉府中に来てました。  
弟が和泉守をしていた時に3か月ほど滞在しました。

更級日記には、和泉府中に滞在したときの内容は書かれていません。往復の旅のことだけ書かれています。



和泉国府跡の石碑



御館山公園

「御館」とは、なんとも国府跡の名残



泉井上神社  
「和泉」の名はこの地に湧き出た泉に由来する



泉井上神社  
かなり閑散としている



泉の跡  
今は説明板があるだけ

JR和泉府中の駅前商店街



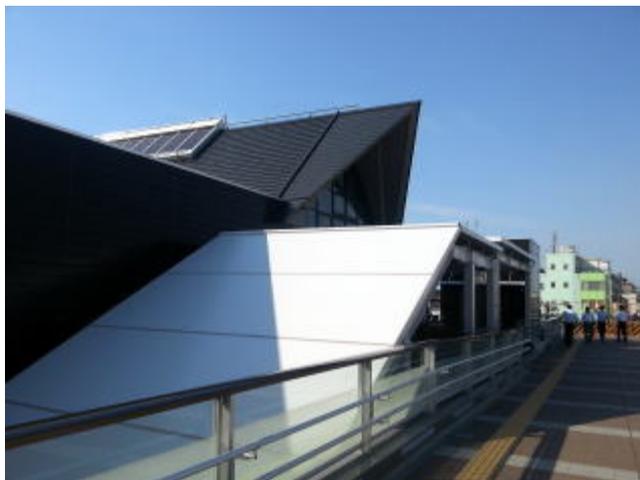
シャッター通りになっていました



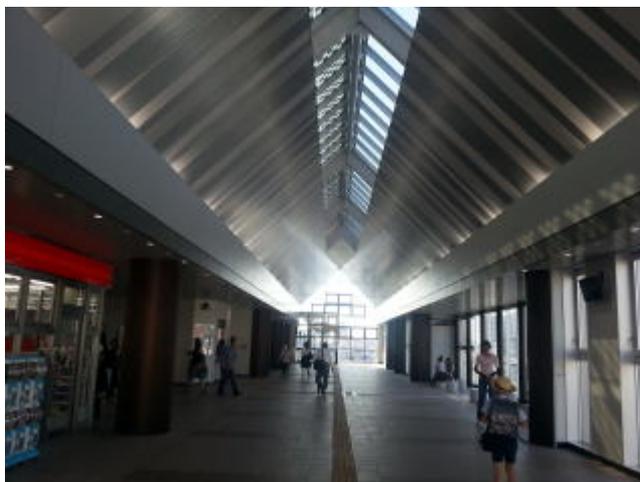
JR和泉府中前



駅前再開発中



弥生時代の建物を模したデザインの駅舎



駅の内側から天井を見上げる

どうして和泉府中にこんなにこだわるのかと言うと、和泉市在住だからです。

\*  
\*  
\*

(更級日記つづき)

往路は、京都から船で淀川を下り、そのまま大阪湾を南下して泉大津に上陸、和泉府中(当時は和泉国の国府があった)  
帰路、再び泉大津から船に乗り込もうとしたところ、台風がやってきて、5、6日間船を出せなかった。  
台風の到来がもう少し遅かったら、船は出発しており、沖合で台風の直撃を受けて沈没していただろう・・・

<b>荒るる海に風よりさきに船出して石津の浪と消えなましかば</b>	<b>菅原孝標女</b>
台風より早く荒れる海に船を漕ぎ出して 石津で波にのまれて消えていたならば *石津・・・泉大津の北の地名	

「ましかば」で終わっていて、なんか妙な感じの歌ですね。  
(条件を提示するが結果は貴方が考えてくださいよ)

